

令和3（2021）年度 【書道Ⅰ】

68 新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	選択必履修	6	8	なし
教科書			学習書・他教材	
「書Ⅰ」（教育図書）			なし	
学 習 目 標				
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
学 習 計 画				
学習項目	学習内容			試験範囲
1 書へのいざない 漢字の書の世界 楷書（1）	書写から書道へ、姿勢・執筆法、書体の変遷 楷書の古典と臨書、楷書の特徴と書風 『孔子廟堂碑』・『九成宮醴泉銘』の臨書と鑑賞、「初唐の三大家」			/
2 楷書（2）	古典の美、用筆法・字形についての用語 『雁塔聖教序』・『顔氏家廟碑』の臨書と鑑賞、「唐の四大家」			
3 楷書（3）	写経、『牛欄造像記』・『鄭義下碑』の臨書と鑑賞、はがきの書き方			
4 行書 篆書と篆刻	行書の古典、『集王聖教序』・『蘭亭序』の臨書と鑑賞 篆書の特徴と篆刻の手順			/
5 仮名の書	仮名の書、筆の扱い方、いろは歌と字源、単体と連綿、『蓬萊切』の臨書と鑑賞			
6 漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷、漢字と仮名の調和、著作権、作品制作と鑑賞			

評価規準と評価方法

評価は、次の4観点から行います。

①書への関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、スクーリング出席状況、レポート（作品）提出状況から総合的に評価します。レポートは、空欄があった場合や課題が不足している場合は不合格となります。期限を守って提出してください。なお、試験は実施しません。

授業の進め方・課題・提出物など

- ・スクーリングはレポートの内容に沿って進めていきます。
- ・スクーリング出席には、教科書とレポート、筆記用具の他に大筆、小筆、半紙を用意してください。忘れ物があると参加できません。貸し出しできません。レポートの課題作品は必ず添削を受け、清書とともに提出してください。

担当者からのメッセージ

- ・小中学生までの国語科「書写」から発展し、高校では芸術科「書道」が始まります。書道の学習においては、よく見ること、考えることが大切です。技法の習得には自分の解決すべき課題を見極めながら練習を重ねます。
- ・作品制作においては、自分が何を表現したいのかを考え、書を通した自己表現を目指します。
- ・道具の準備後片付けも含めてスクーリングですので遅刻のないようにしてください。